

[番組名] 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」

[放送日] 2012年10月12日

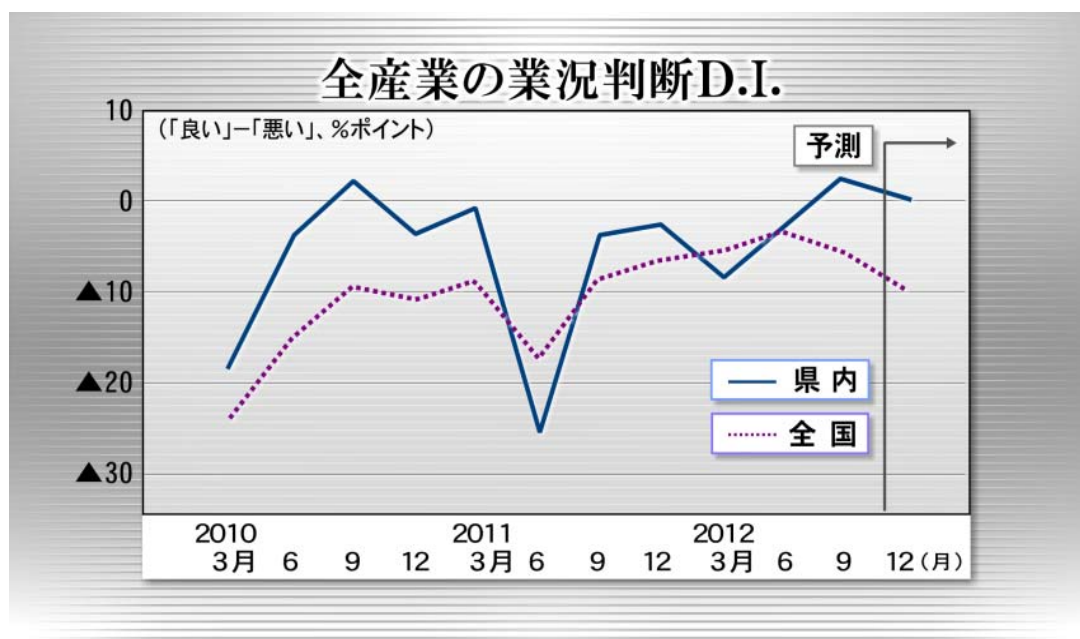
[テーマ] 持ち直しの動きがやや弱まっている県内景気

(キャスター) 『プラスオピニオン』のコーナーです。今週は、日本銀行前橋支店長の相良雅幸さんに、「持ち直しの動きがやや弱まっている県内景気」というテーマでお話をうかがいます。それでは相良さん、よろしくお願いします。

(相良支店長) よろしくお願ひします。

県内景気は、春過ぎ頃から持ち直しの動きを続けています。ただ、ここへきてやや弱めの動きがみられるようになりました。そこで、私どもでは、今月、「持ち直しの動きがやや弱まっている」との表現で、景気判断を若干下方修正しました。その背景を、9月に実施し、今月はじめに公表した「企業短期経済観測調査」－いわゆる日銀短観－の結果からみてみましょう。

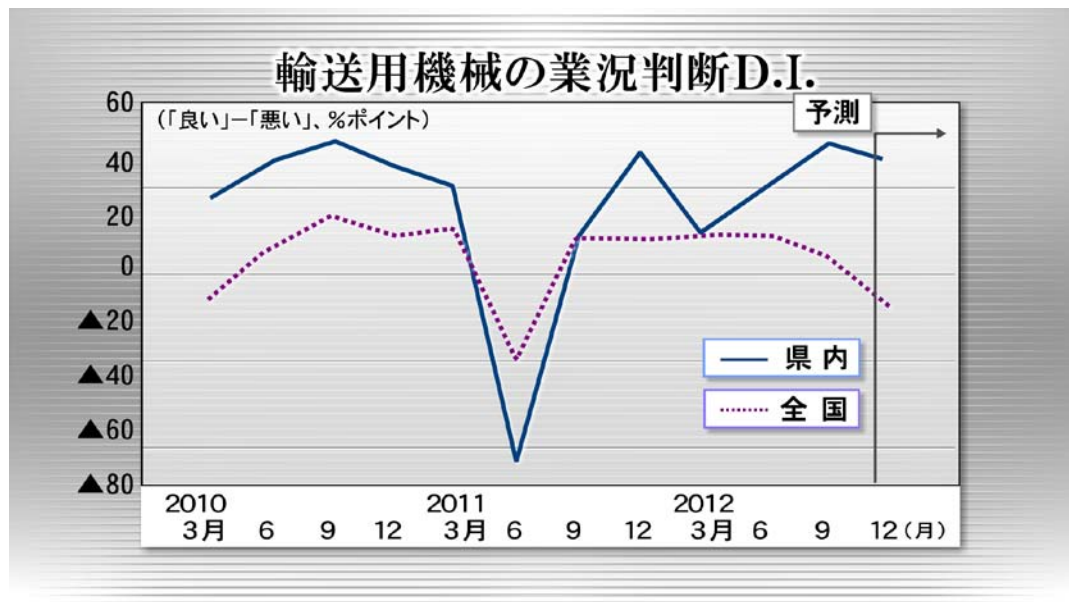
まずは、「業況判断 D.I.」をご覧ください。



(相良支店長) この D.I.は、業況が「良い」と答えた企業の比率から「悪い」と答えた企業の比率を引いたものです。「良い」と答えた企業が多いほど、数値は高くなります。青色の線が県内の動き、赤色の線（点線）が全国の動きです。今回の9月調査では、全産業では+2と、2010年9月調査の+2以来、2年振りにプラスへ浮上しました。一方、全国の D.I.は、▲4から▲6へ、やや悪化しました。

(キャスター) 県内の業況判断が改善したのは、どのような理由からでしょうか。

(相良支店長) 県内の業況判断の改善には、輸送用機械が大きなけん引役を果たしています。輸送用機械の D.I.の動きを、県内と全国で比較してみましょう。



(相良支店長) 県内の輸送用機械の D.I.は、6月の+30から9月には+45と大きく改善し、先行き12月にかけても+40とまずまずの景況感が続く見通しにあります。これは、自動車や自動車部品を作る県内企業の販売や生産が好調であるためです。一方、全国の輸送用機械は、6月の+13から9月には+5、先行き12月にかけて▲13と悪化する見通しにあります。

同じ輸送用機械で、県内と全国で明暗が分かれたのは、県内企業に強みがあるからです。具体的には、県内企業の海外拠点や輸出は北米中心であり、景気の減速が目立っている欧州や中国への依存度が低いことが挙げられます。

(キャスター) 短観をみると、景気はあまり悪くないように思われますが、今回の景気判断では、なぜ「持ち直しの動きが弱まっている」と下方修正したのでしょうか。

(相良支店長) はい。その点について、製造業の事業計画でご説明します。

製造業の事業計画

前年度(同期)比、%

	2011年度 (実績)	2012年度(計画)	
			修正率
売上	▲3.1	13.4	▲0.8
経常利益	▲42.8	73.0	▲8.1
設備投資	31.8	4.4	▲1.6

(相良支店長) 製造業の2012年度事業計画は増収増益であり、減収減益の前年度よりも良好です。また、設備投資は、3割強伸びた前年度をさらに上回る計画となっています。これは、輸送用機械を中心に最近の収益が好調で、設備投資の意欲が根強いことを表しています。

このように、事業計画は前年度と比べると良好なのですが、今年度に入ってからの変化が出てきました。2012年度計画の修正率をご覧ください。ただとお分かりのように、6月調査と比べるといずれも下方修正しています。これは、輸送用機械以外の業種、具体的には電気機械や一般機械の一部、化学などで、弱めの動きが出てきたことが影響しています。

この点を、次の表で具体的にみてみましょう。

海外経済減速の影響 「良い」「悪い」、%ポイント、○内は変化状況

	6月	9月	12月 (予測)
電気機械	0	▲15(↓)	▲5(↑)
業務用機械	33	0(↓)	0(→)
はん用機械	25	50(↑)	0(↓)
化学	▲43	▲14(↑)	▲15(↓)

(相良支店長) 「業況判断 D.I.」を業種別にみると、電気機械や業務用機械では9月に大きく悪化しています。また、はん用機械、化学では、先行き12月にかけて悪化する予測となっています。これらの業種の「業況判断 D.I.」が、足許あるいは先行きにかけて悪化している背景には、海外経済の減速が長引いていることが挙げられます。欧州経済の減速長期化に加えて、最近、中国経済も減速感を強めており、こうした国へ直接輸出している企業や、これらの国へ輸出する製品の部品を作る企業の中に、景況感が悪化している先や先行きを懸念する先がみられ始めたのです。

私どもでは、こうした弱めの動きがみられていることを踏まえて、今月、「持ち直しの動きがやや弱まっている」との表現を用いて、景気判断を若干下方修正したのです。

(キャスター) 最後に、今後の景気をみていくうえでの注目点としては、どのようなことがありますか。

(相良支店長) 注目すべきポイントについて、次のフリップにまとめてみました。

今後の注目ポイント

① 海外経済の動向

- 欧州債務問題
- 減速する中国経済

② 輸送用機械のけん引力

(相良支店長) まず第1に、海外経済の動向です。欧州では、ギリシャやスペインなどの国を中心に、過剰債務の改善という大きな課題が残っています。また、中国では、欧州向け輸出の割合が高いこともあって、経済の減速感が広がっています。先ほどご説明しましたように、製造業の一部の業種にはそのマイナスの影響が出てきていますので、今後、そうしたマイナスの影響を受ける業種が広がらないか、マイナスの度合いが強まらないかといった点を、よくみていく必要があります。

第2に、輸送用機械のけん引力です。輸送用機械は、県内景気持ち直しの大きなけん引役です。ただ、全国の輸送用機械は、すでに景況感が悪化の方向に傾いています。県内の輸送用機械は、幸い生産や輸出の面で欧州や中国に依存する割合が低いため、現状、さほどの影響が出ていませんが、今後も同様のけん引力を維持できるかという点を、よくみていくことが必要です。

(キャスター) 今日は、「持ち直しの動きがやや弱まっている県内景気」ということでお話をうかがいました。ありがとうございました。

以 上